



フォルクスワーゲン・コロラド同
様ピックアップボディが存在する
ことがわかった。いかにも北米市
場向けといった感じた。

これまでのスクープ写真にはな
かった大型グリルの存在が発覚。
マスクはよりポルシェらしくな
り、迫力も出た。

二

ユーモデルが続々と登場
するこのSUVセグメン
ト。ドイツのメーカーも
こぞって各地のモーターショーでコ
ンセプトカーを発表した。残るはポ
ルシェだけ。今回スクープされたカ
イエンは、開発担当者によると02年
のデビューを目指しているという。
とはいえ最後に参入するだけに、ほ
かのどのモデルに対してもアドバン
テージを持つていなければならない
というのはツライところだろう。

もともとポルシェという会社は、
VWのエンジンのチューンを専門と
していた。VWポルシェなるモデル

も存在したほど開発に関わる共同作
業は緊密だ。このカイエンも、実は
コロラドをベースに開発されたとい
うウワサもあり、00年1月のデトロ
イトショーでコンセプトカーが公開
されたVWコロラドとは姉妹車関係
になる。ポルシェではEI、VWで
は756と呼ばれるこのモデル、お
互いの差別化をより強くするため
に、よりポルシェらしい機構が採用
されている。その目玉となるのが、
フライ・バイ・ステアだ。

ステアリングからシャフトを取り
去り、回転の電氣的な信号により操
舵輪を操作する。これによって、オ



107 予想発表時期02年

ポルシェ カイエ

これが決定マスク! 最速SUVにピックアップボディ発見!!

バンパー部の大きなグリルは、これまでのテストで必要性が認められたためだろう。しかし、そのおかげで、異様なまでの迫力を持つ結果になった。ケガの功名というべきか。

Photo. APOLLO

108

予想発表
時期02年

VWポルシェ

914が最新技術で復活。
廉価版ポルシェ登場!

パリ・サロンで突如として発表されたポルシェ・カレラGT。しかし、ポルシェのアクティブな動きはこれにとどまらない。じつは、ボックスターにも新ラインナップが加わる。それが、VWゴルフ&アウディ用の2直4DOHC20Vにターボを組み合わせて搭載する、いわばVWポルシェともいえるモデルだ。

フだろうがオンだろうが、適切なステアリング特性が思いのまま。ATにはステップトロニックを採用。サスペンションはストロークを長く取り、アクティブ・サスペンションが瞬時に状況を判断して反応する。オフロード向けには、オートマチック・フリー・ホイールハブも用意。本格的なオフロード性能も持つ。今回捕らえたテストカーのマスクは、911の面影を色濃く残している。オフロードパッケージや、サイドシートはオプションとなるが、アンダーカバリーを装備するなど、外観上は完全なオフローダーだ。エンジンは新開発の4・5 V8が開発中で、340 PSモデルを基本として、ツインターボを付加した450 PSモデルまでのラインナップする。しかし、このカテゴリーでは、VWの勢

いを抑える事は難しそうだ。VWは2・5 V6 (180 PS) に始まり、6 W12、3・8 W8、V10 ディーゼルという強力なエンジンラインナップを計画した。この攻勢に対しポルシェは、ステアリングを含めたコンピュータでコントロールできるデバイスに、これまで独自に蓄積してきたデータを活用する、という技術で対抗する。このカテゴリーに最後に登場するという事は、こうしたデバイスの開発や、先行したライバルたちのマーケットを分析するという意味もありそうだ。世界的な業界再編が進み、生産台数の確保が企業存続に必要ないまま、ポルシェにとってSUVの顧客は是非でも確保しなくてはならない。ボックスターという(ポルシェにしては)廉価なスポーツカーで、顧客の裾野を広げ、SUVで(主に北米の)新しい市場を開拓する。これがポルシェの戦略なのだ。